Digital Cinema NOW 164

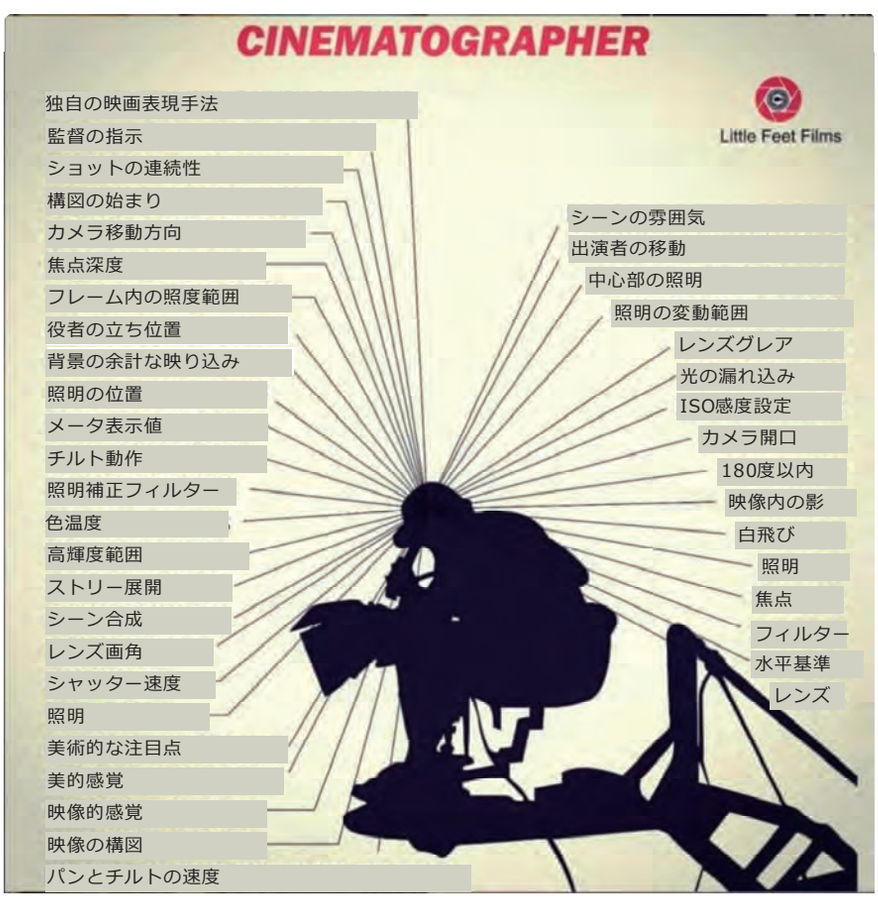
映画を巡る四方山話

川上　一郎

今月号では現在の動向と併せて映画制作に関わる四方山話を紹介させていただく。

さて、中国コロナによるパンデミックの影響がいつ終息に向かうのかが最大の関心事であり、全世界の映画興行業界は８割から９割の売上減と最悪の状況が続いている。この各国映画興行業界の動向については、クリスマスシーズンを過ぎて来年春以降の話題作封切スケジュール等が明確になってきたから、あらためて紹介させていただく。

今週に入り米国で７千スクリーンを展開し、欧州などをくわえると１万スクリーンを展開している AMC が発表した第３四半期の売上は対前年度比で実にマイナス98%と惨憺たる結果であった。第２四半期が売上零であり、８月以降からわずかながら営業再開となる映画館も出てきたが、集客の見込める話題作の封切は全て来年以降に延期となり、過去の作品やいわゆるＢ級映画（ハリウッドスタジオの子会社が低予算で製作する映画、とは言っても 20 億程度の製作費を投入している）しか上映されていない。AMC では $99 で、最大 20 人までが映画館のサーバーに記録されている作品中から１作品を選んで、プライベートスクリーニングを提供するサービスを開始した。少しでも現金収入が入らないと年末まで会社が存続できそうに無い危機感の表れである。中国のワンダグループが過半数の株式取得を仕掛けた頃には＄20 ～＄25 で推移していた AMC の株価も最近では＄2 台で推移しており、15%の株式を未だ保有しているワンダグループも売るに売れない株価水準である。



https://hu.pinterest.com/pin/684617580849215334/

図 1 撮影監督の考えること

ハリウッドスタジオによる映画館買収の動きも、最大手のディズニーはテーマパーク部門の全面閉鎖による損失の影響が大きく、ここ数年は新規投資には踏み出しそうも無い。筆者が注目しているのは AT&T 傘下となったワーナーが中規模の映画館チェーンを買収し、各映画館に 10Gbps の専用回線を敷設し e-Sports 専用スクリーンを全米に展開するビジネスモデルである。映像信号は８ビット RGB と帯域が狭いことから 120Hz のフレームレートで 4K-DLP プロジェクターを色温度 6500 ケルビンの P7 モードで運用すれば PC に搭載したグラフィック基盤からのゲーム映像も違和感なく投影できる。

また、Apple や Amazon 等による映画館買収の噂では都市部や地方の中核都市で好立地の映画館ロビーを改装してアンテナショップとして活用するビジネスモデルも上げられている。また Netflix や、今週に入ってパラマウントがネット視聴用低価格スティック PC を展開している ROKU と新形態の動画配信事業を計画しているのでは？　等などのアフターコロナでの新規事業展開に関する情報が錯綜しているが、来年のクリスマスシーズンでの公開が噂されている“AVATAR2”の 3D を含めた封切上映のビジネスチャンスをどうのように捉えて事業計画を立てるのかが最大の注目点であることは言うまでも無い。

さて、ここから映画に関わる四方山話として筆者が日頃面白いと感じた様々な話題を紹介させていただく。

以前、映画作品について映画監督が著作権を主張できるのか否かどうかの議論がハリウッドであり、著作権関係者も交えた議論の結果、“監督は全体の方向付けと決定をしているだけで芸術的創作活動といえる活動は無い”との意見が大半であったが、“撮影監督の業務については芸術的創作活動が認められるのでは？”との意見も取り上げられていた。

図１は nofilmschool.com で紹介されていた図で、撮影監督：Cinematographer の考えることが網羅されている非常に面白い内容である。撮影監督は、撮影に関わる全てを統括する立場であり、撮影機材の選定に始まり、撮影と照明チーム、そして美術やセット建込みなどのチーフクラス人選を担当する。

この多忙な撮影監督を悩ます様々な問題を図解しており、担当する作品に独自の映画表現手法をどう生かすのか、連携する監督の意味不明な場合も含めて様々な指示をどのように理解して撮影に反映させるのかに始まる。

最近の一般的な作品ではワンショットが２～３秒であり、各撮影ショットの映像的な連続性をどのように担保するのかが頭を悩ます問題である。また、ハリウッドのアクション映画では通常４～６台のカメラを使用し、異なる撮影角度や画角で同時撮影を行い、編集時にシーンの連続性をカットの切り貼りで行う作業工程が一般的となっていた。

1.企画段階

アイデアを思いつき、スクリプトを書き、それを売り込む。

エージェント	Agents	ラインプロデューサー	Line producers
プロデューサーのアシスタント	Assistants to the producers	パーソナルアシスタント	Personal Assistants
ビジネスマネジャー	Business managers	プロデューサー	Producers
コンサルタント	Consultants	広報担当者	Publicists
エグゼクティブプロデューサー	Executive producers	脚本家	Screenwriters
投資家	Investors	スタジオ役員	Studio executives
弁護士	Lawyers		

2.プリプロダクション

アイデアの開発、計画、視覚化。予算の準備、撮影スタッフの雇用、スケジュールの作成。

アート部門アシスタント	Art department assistants	撮影監督	Directors of photography
アート部門コーディネーター	Art department coordinators	財務幹部	Financial executives
アートディレクター	Art directors	イラストレーター	Illustrators
アーティスト助監督	Artists Assistant directors	ロケーションアシスタント	Location assistants
大工	Carpenters	ロケーションマネージャー	Location managers
キャスティングディレクター	Casting directors	現場塗装チーフ	Paint foremen
振付士	Choreographers	制作アシスタント	Production assistants
コンセプトアーティスト	Concept artists	プロダクションデザイナー	Production designers
建設コーディネーター	Construction coordinators	製作マネージャー	Production managers
建設電気技師	Construction electricians	小道具ビルダー	Props builders
建設応急処置	Construction first aid	小道具マスター	Props masters
建設現場の監督	Construction foremen	セットデザイナー	Set designers
建設現場チーム長	Construction grips	セットデコレーター	Set decorators
建設労働者	Construction workers	セットドレッサー	Set dressers
衣装デザイナー	Costume designers	セットスタッフアシスタント	Set staff assistants
コスチュームスーパーバイザー	Costume supervisors	ストーリーボードアーティスト	Storyboard artists
コスチューム	Costumers	スタントコーディネーター	Stunt coordinators
発音コーチ	Dialogue coaches	仕立て屋	Tailors/seamstresses
監督	Directors	衣装	Wardrobe
監督助手	Directors. assistants		

3.本編撮影

シーンの撮影、キャスト、場所の操作、映像のレビュー。

経理担当者	Accounting clerks	映像に映る車両のドライバー	Picture car drivers
俳優	Actors	画像編集者	Picture editors
動物取扱者	Animal handlers	撮影現場での会計担当	Production accountants
アシスタント会計士	Assistant accountants	制作コーディネーター	Production coordinators
助監督	Assistant directors	撮影現場のサウンドミキサー	Production sound mixers
ブームオペレーター	Boom operators	小道具管理者	Property masters
カメラローダー	Camera loaders	小道具担当者	Property workers
カメラマン	Camera operators	脚本と撮影シーンの履歴管理	Script supervisors
ケータリング	Caterers	現場の建込み労働者	Set strike workers
撮影監督	Cinematographers	サウンドエディター	Sound editors
運転手	Drivers	音響技術者	Sound technicians
電気技師	Electricians	特殊効果コーディネーター	Special effects coordinators
エクストラ	Extras	特殊効果監督者	Special effects supervisors
エキストラキャスティングコーディネー	Extras casting coordinators	特殊効果技術者	Special effects technicians
応急手当	First aid workers	現場での塗装補修	Standby painters
ガファーズ（照明）	Gaffers (lighting)	写真家	Stills photographers
グリップ（セット操作）	Grips (set operations)	スタントパフォーマー	Stunt performers
ヘアスタイリスト	Hair stylists	現場でのセット移動労働者	Swing gang workers
メイクアップアーティスト	Makeup artists	臨時保育所の職員	Teachers/welfare workers
オフィスコーディネーター	Office coordinators	テクニカルアドバイザー	Technical advisors
現場の着付け担当	On-set dressers	交通コーディネーター	Transportation coordinators
給与会計士	Payroll accountants	輸送キャプテン	Transportation captains
映像に映る車両のコーディネーター	Picture car coordinators		

4.ポストプロダクション

映画の編集、タイトル、音楽、特殊効果の追加。

オーディオレコーディングエンジニア	Audio recording engineers	ミュージシャン	Musicians
作曲家吹き替え編集者	Composers Dubbing editors	映写技師	Projectionists
ルームアシスタントの編集	Editing room assistants	サウンドデザイナー	Sound designers
映画やビデオの編集者	Film and video editors	特殊効果技術者	Special effects technicians
ラボ技術者	Lab technicians		

5.配給

完成した製品を劇場、ホームビデオ、テレビ、オンライン等の市場に配給する。

会計士	Accountants	マーケター	Marketers
広告担当役員	Advertising executives	パートナーシップ開発者	Partnership developers
配給担当役員	Distribution executives	広報担当者	Publicists
ファイナンシャルマネージャー	Financial managers	配給担当スタッフ	Sales staff
ライセンス担当役員	Licensing executives		

表-1 映画やテレビのクレジットが長い理由

資料出所："The Economic Imapact of the Motion Pitcture & Television Industry on the United State", April 2009, MotionPiture Association of Amerca, Page 8

この、マルチカメラによる短時間切り貼り映画制作手法に一石を投じて、オスカーの撮影賞を受賞したのが、第一次世界大戦の実話を元に制作された話題作“1917”である。この作品は、数分にも及ぶ戦闘シーンを一台のカメラにより撮影された映像で構成する非常に挑戦的な撮影手法であるが、当然のことながらカメラワークや俳優の所作全てに映像として成立するための綿密な映像設計とリハーサルが必要となり、ネット上に“1917”のメイキングシーンの数々を見ると撮影前の綿密な画面設計と併せて、関連するスタッフへの動作指示が細部にわたって行われていることが感じ取られる。

また、映画作品を構成するシーンではカ

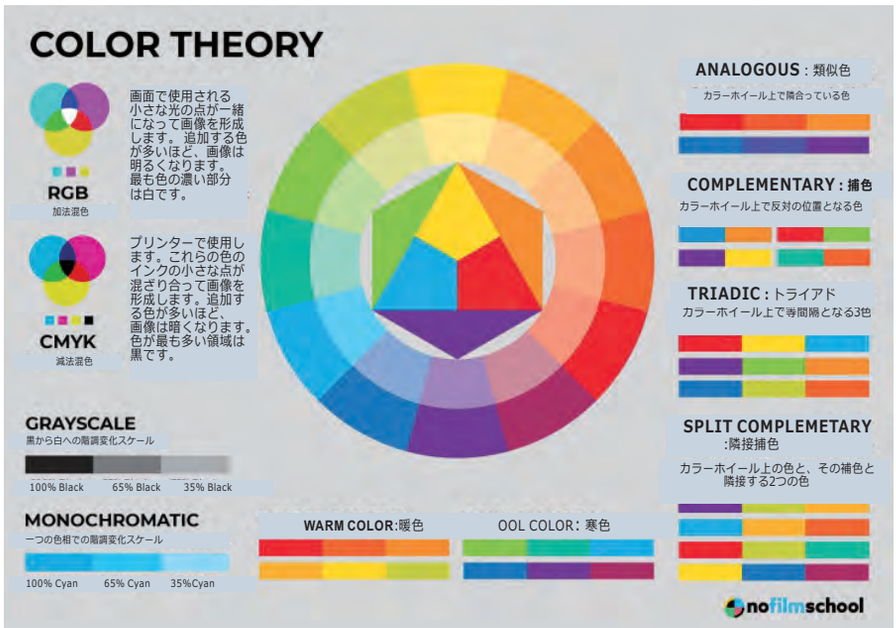


図 2 カラーセオリー

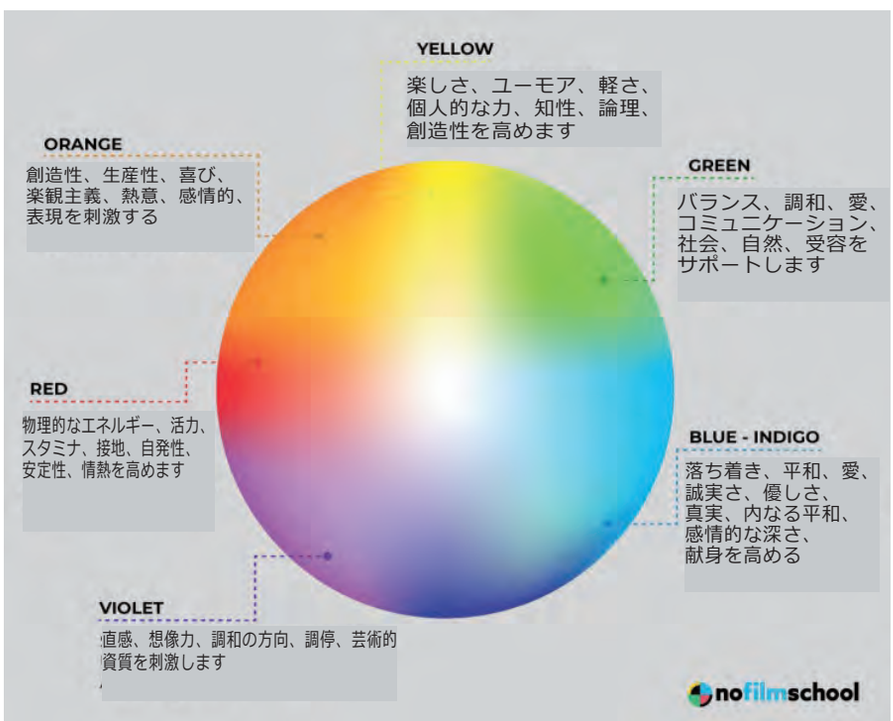


図 3 色による特性

メラも役者も静止した状態の映像はほとんど無く、何らかの動き（カメラ側、演者、背景等など）があるが、シーンの最初がどのような構図で始まり、カメラの移動が水平なのか、旋回なのか、上下なのか、はたまた寄りや引きの画角変化を伴うのかの画面設計が問題となってくる。

この何らかの移動を伴うシーンでは、映画作品ならではの見せたい部分に焦点を合わせて背景をぼかす“切れのある”映像表現が必須となってくるが、役者の立ち位置や照明のバランス、そしてカメラを移動したときの余計な映り込みが無いかを事前確認しておく必要がある。

最も大事な作業は肉眼で捉えているシーンでは無く、あくまでもカメラで撮影された映像に成果の全てが集約されていることであり、デジタル撮影ではとくに優秀なビデオエンジニアやデジタルイメージグラファーと称されるエンジニアを人選してチームに配置しておくことが必須となってくる。現場で完璧なマスモニによる画質チェックを求めることは現実的で無いことから、構図の確認とビデオ波形の確認で露光範囲の確認検証を行っておき、撮影チームのベテランにシーンを構成する主要部分の色温度や露光指数の確認と報告を求めて適切な指示を出していく、まさに映像表現の魔術師ともいえる大変な作業である。

日本の映画作品で撮影監督の表示が片隅になっていることは非常に違和感を感じており、本来は監督と撮影監督が同列に表記されるべき職責を担っていることを感じて欲しい。

表 1 はハリウッドスタジオにより構成されている米国映画制作者連盟（MPAA）が 2009 年に公開したハリウッド映画の経済白書（“The Economic Impact of the Motion Picture & Television Industry on the United State”, April 2009, Motion Picture Association of America, Page 8）に記載された映画やテレビでエンドロールクレジットがなぜ長いのかを解説した資料であり、映画作品の企画段階から予告編や本編制作のシミュレーションを行うプリプロダクション、そして本編撮影、編集、配給に至るまでに関わる様々な職種を網羅した内容である。

米国の映画マニアサイトでは作品毎のエンドロールクレジットに記載されたスタッフの人数を集計したサイトもあり、1,000 人単位のスタッフ名が延々と表示されている作品も数多くある。

まず、企画段階では作品のアイデアを売り込むエージェント（もっとも正体不明の職業ではと筆者は感じている）、そして担当する予定のプロデューサ、スタジオの制作部門を統括するラインプロデューサ、担当役員などにくわえて一番やっかいな投資家と弁護士も加わってくる。映画作品に対する投資家は当然のことながら知名度の高い俳優と市場価値が見込める有名作品のシリーズ作品については問題が無いが、投資価値が見込めそうも無い作品についてはスタジオが抱える多数の企画案件を複数まとめて投資をまとめたがる傾向もよく知られている。この企画段階で関わる脚本家は 30 分程度のプリプロダクション向けの脚本を担当する専門家と言って良い。

プリプロダクションでは、予告編撮影と本編制作に関わる予算見積もりを行うための準備といえる撮影であるが、監督と撮影監督との連携にくわえて様々な職種の撮影スタッフが集合し監督の描くイメージやアイデアをどのように映像化していくのかを実証していくことになる。この、プリプロダクションで撮影された映像の評価が好評

Apple Box	アップルボックス	木製の箱で1／2，1／4等の高さの異なるサイズがあり、照明や各種機材の高さ調整に使用される。日本の演劇関係では箱馬・馬と称される
Atmosphere	アトモスフェアー	エキストラ（語源は空気感や雰囲気であるが、エキストラのその他大勢は空気のような存在と言った意味）
Baby Legs	ベイビーレグ	短尺のトリポッド
Back In	バックイン	休息後に撮影を再開するとき
Barndoors	バーンドア	ライトの全面に取り付けるアオリ板
Best Boy	ベストボーイ	照明や電気技師チームの筆頭アシスタント
Black Wrap	ブラックラップ	黒色のフォイルで明るさ調整に使用される
Boom	ブーム	マイクロホンを取り付けるための伸縮する長い支柱でカメラを取付る場合もある
C-47	C-47	布を止めるクリップ
Camera Wedges	カメラウェッジ	1/2インチの木製クサビ
Combo Stand	コンボスタンド	反射板とライトの両方に使用できる重量パイプのスタンド
Crafty	クラフティ	撮影現場での飲み物や軽食サービス。昼食や夕食はケータリング
Cribbing	クリビング	グリップ用に使用される小さな木片
Crossing	クロッシング	カメラのセットアップ中にカメラ前を通過するときに”クロッシング”と声をかけます
C-Stand	Cスタンド	上下調整のできるグリップスタンド
Day Player	デイプレイヤー	撮影クルーは撮影当日または数日間だけの雇用であることからこの呼び方となる
Dirt	ダート	三脚を安定させる二つ折りのサンドバッグ。サンドとも呼ばれる
Ditty Bag	ディッティーバッグ	カメラユニットが使用する小物入れバッグ
Doorway Dolly	ドアウェイドリー	ドアを通過するときに音がしないように4輪のゴムタイヤを装着したドリー
Duvetyne	デューベタイン	厚手の黒い耐火布で窓の遮光などに使用される
Feather	フェザー	ライトに旗を近づけたり遠ざけたりする照明手法
First Team	ファーストチーム	主役俳優
Furnie Pad	ファニーパッド	吸音効果のある厚手のブランケット（綿入）
Gaffer	ガファー	照明・電気のチーフで撮影監督の指示に従い照明・電気チームを統括する。ゴッドファーザーがなまった省略形と言われている
Gaffers Tape	ガファーズテープ	様々な色のダクトテープ。日本ではスリオンテープやガムテープが一般的
Highboy	ハイボーイ	旋回できるコンボスタンドでオーバーヘッドスタンドとも言われる
Japanese Lantern	ジャパニーズランタン	紙製のシェードを使用したソフトライト
Key Grip	キーグリップ	カメラをサポートし、セットの安全性を確保するグリップ部門の責任者
Lastman	ラストマン	ランチで最後に座ったクルーメンバーで、全員がそろわないとランチが始まらないので、ラストマンと呼ばれる
Magic Hour	マジックアワー	夜明け前や日没後の刻々と明るさや色合いが変化する時間帯
Martini	マーティニ	その日の最終撮影ショット
MOS	モス	音声収録の無い撮影
Pick-Up	ピックアップ	短時間の再撮影
Plate	プレート	VFX撮影のための背景。グリーンバックやブルーバックが一般的
Points	ポインツ	重くて尖った物などを運ぼうとしているときに、周囲に注意を促すために呼びかける言葉
Practical	プラクティカル	カメラが撮影した照明の状態
Room Tone	ルームトーン	室内撮影のシーンで話し声や物音がするときに ” Hold Room Tone! " と呼びかける
Scrim	スクリム	光を拡散するためのディフューザーフィルター
Second Team	セカンドチーム	主役の代役
Second-Unit	セカンドユニット	主役を含まないシーンを撮影するチーム
Sides	サイド	当日または撮影シーンの脚本
Softie	ソフティー	フォーカスプラーを操作するチーフアシスタントカメラマン
Stinger	スティンガー	照明電源などの延長コード
Striking	ストライキング	誤操作により照明が動いたり、電源が落ちたり、機器の動作が停止したときに発せられる言葉
Video Village	ビデオヴィレッジ	撮影映像のモニター等をセットした監督やプロデューサーが座っているコーナー

表 -2 撮影現場での用語集
The Essential FILM SET LINGO Dicitionary : nofilmschool.com

であれば、本編撮影へと進展していく。

本編撮影では、一挙に関連スタッフの職種が増加し、チーフ以外は撮影当日の日雇いとなるために日払い賃金の支払いを担当する会計担当者から、職種別ユニオンと映画制作者連盟との協定により義務づけられている臨時保育所やスタッフの移動手段確保等などの多様なスタッフが集合して映画村が立ち上がることになる。

そして、ポストプロダクションでは映像編集に合わせて効果音や音楽収録が行われ、VFX 等の特殊効果も編集の進行に合わせて

☆ http://www.uni-w.com/fdi/　ではフルカラーでご覧いただけます。

キャラクター	強み	弱み	動機
The Warrior：戦士	身体能力/精神的能力 自信 団結 準備	自惚れ 敵を過小評価 自信過剰	誰かがその戦闘を終わらせる必要があれば、それは私だ
The Child：子供	豊かな想像力 信頼する 希望に満ちている	身体能力が弱い 世界を知らない 簡単に行動してしまう	学び、幸せを手にし、真実を発見する
The Orphan：孤児	命令を信じる 生存力 共有体験への感情移入	他人からどう見られているかが気になる。 自信が無い。 喜ばせたい気持ちが強すぎる	理解され、受け入れられ、人とつながること
The Creator：創作者	無限の行動力 天才的なアイデア ビジョン	ビジョンを説明できない 完璧さを嫌がる 人よりも良いできを求める	彼らが作る物は何であれ永続的な印象を与えます。何よりもレガシー
The Caregiver：介護者	大きな心 無私の行為 寛大	だまされやすい 一過性の心 他人の生存を重視する	どんな犠牲を払っても愛する者を守る。 彼らは仕事をするために生きている
The Mentor：指導者	世界についての知恵 穏やかな存在感 みんなの意見を聴く	自分の問題が解決できない 予測が狂うこともある 暗い失敗から学ぶ	ガントレットを拾うように次世代に教えるために
The Joker：ジョーカー	みんなが好き 周りにいると楽しい 深い魂を持てる	いざというときに頼りにならない 大抵は自分のために行動する 気晴らしが絶えない	何が自分の人生を楽にしてくれるのか。 何が自分を幸せにしてくれるのか
The Magician：魔術師	知識 戦略 歴史の理解	傲慢 自分の思い通りにならいと怒る時には戦争のような状態になる	力と組織 彼らは世界のカオスを見て、パズルを解く方法を知っています
The Ruler：統治者	権力 コミュニケーション リーダーシップ能力	あらゆるコストでのコントロール 彼らに対する陰謀の被害妄想	彼らの力を維持し、より多くの力を得ることによって、社会の平和と秩序を維持する。
The Rebel：反逆者	諦めない 大衆を鼓舞することができる。 ちょっとしたことで得する方法を知っている	到達目標を頻繁に下げる。 稼ぐことに苦労がつきない 無力であり、前に進む道も無い	世界はクソだから変えよう
The Lover： 恋人	他人に捧げる 情熱的な愛情の対象 自分たちの気持ちをオープンにする	他人のために死ぬことを厭わない 他人を喜ばせるために自分の人格を自ら失うことができる	自分の持っている全てを他の人に捧げること。 人間関係を強くするために
The Seducer：誘惑者	カリスマ性 美しさ スムーズな会話	道徳はありません	ショーを実行します。 どんな犠牲を払っても、思い通りにショーを進めます

表 -3 典型的な 12 のキャラクター特性
"The 12 Character Archetypes", nofilmschool.com

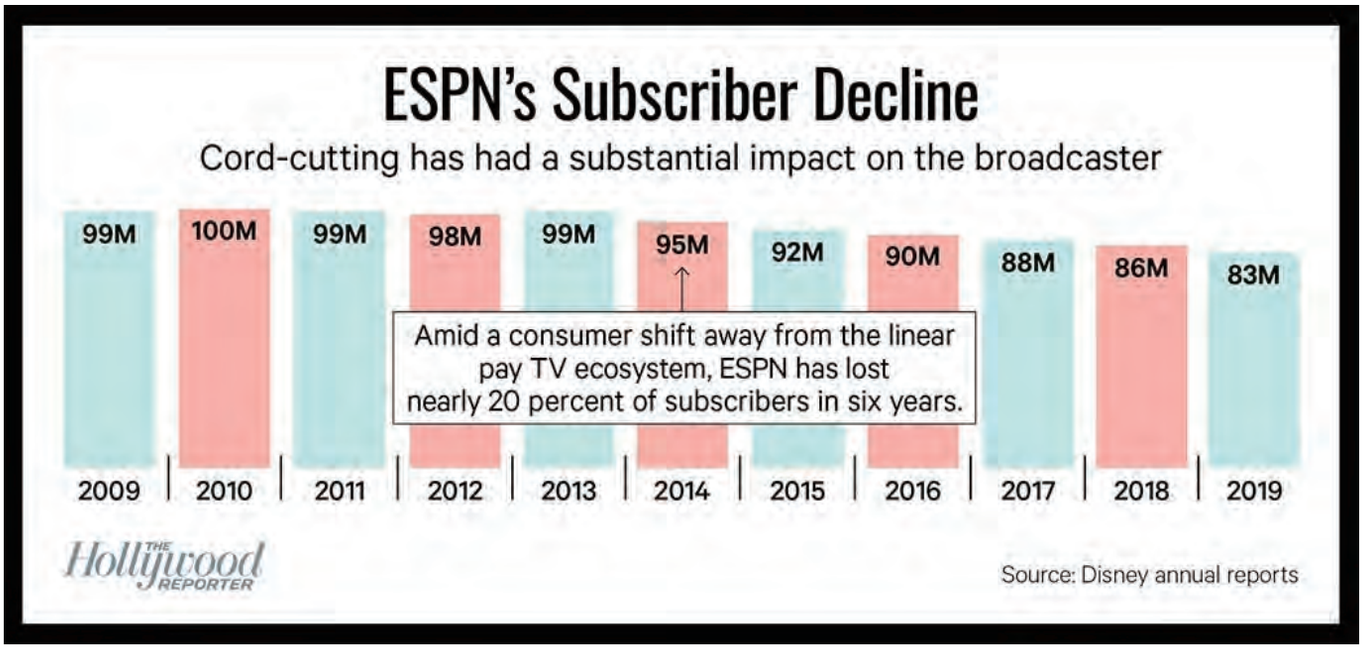


図４ 戦略転換を迫られる ESPN の現状
https://www.hollywoodreporter.com/news/is-disney-playing-for-keeps-with-espn

進められてゆく。ここ数年での大きな変化は、Prores によるフレーム単位での高効率圧縮映像がスタッフ間で共有できるようになったことから、撮影の進行とほぼ同時並行でカット割りが確定するワークフローが一般的となり、従って VFX との合成作業も同時並行で進展できるようになっている。

そして配給段階では一挙に関係スタッフの職種は激減し、ひたすら興行成績に一喜一憂するとともに、ネット配信や VOD 向け等の２次利用・３次利用による制作費回収に向けてのそろばん勘定が主体となってくる。

表２は撮影現場での用語集をまとめている。メイキングシーンの映像で撮影チームが交わす会話を理解するための参考にしていただければ幸いである。

アップルボックスは、日本の演劇関係の現場では箱馬とか馬として呼ばれている木箱であり、高さの異なるアップルボックスを組み合わせて照明やカメラスタンド等のかさ上げに使用される縁の下の力持ちと言ったところである。

アトモスフェアーはエキストラ陣を表現することばで空気のような存在のその他大勢といった感じであるが、地方に撮影チームがやってくると周辺には見学もかねてトレーラーハウスが集まり、あわよくばエキストラとして出演機会が無いかと集まる人々が多いが、俳優組合に加入していないと一切のギャラは支払われない。

スタッフクレジットでカメラクルーのブロックに Best Boy と表記されている職種は照明機材等をセッティングするチームの筆頭アシスンタントと言ったところである。このチームのリーダーは Gaffer：ガファーと呼ばれており Godfather の口語省略形と言われている。

また、撮影チームや照明チームのスタッフの腰ベルトには必ず色とりどりのガムテープがセットされているがガファーズテープとしてセット内の装飾にマッチするように役者の立ち位置（日本では場見る）を表示や、グリーンバッグの固定、スタンドの固定などに多用されている。

表３はハリウッド映画の脚本執筆に関連する記事で紹介されていた映画作品中の 12 のキャラクターについての強み・弱み・動機について解説した内容である。

The Warrior：戦士は、身体能力や精神能力が強みであるが、自惚れや敵を過小評価するところが弱みである等の分析結果はハリウッド映画を鑑賞するときに思い当たる気がする部分もあり興味深い。

図２は映像に関わる業界関係者の方にとっては今更ながらのカラーセモリーであるが、色彩検定やインテリア関係のデザイナーと会話するときの参考資料であり、実際の映画作品におけるセットの色彩デザインとは一致しない部分も多い。

図３はハリウッド映画関係者での色に対する捉え方が垣間見える図であり、日本人とは色に関する感性の違いがあることがわかる。

さて、図４は原稿執筆中に届いたディズニーグループの事業再編にもつながりかねない ESPN の現状である。ESPN はスポーツ中継をエンターテインメントとして定着させ 10 年前まではディズニーグループのドル箱であったが、2014 年以降は視聴者数の減少が続き全盛期の１億人から８千３百万人へと２割減となってしまっている。それにくわえて競合する Fox Sports 等の他のスポーツ専門チャンネルとの競合で放映権料が高騰しており経営的に苦しくなってきているのが現状である。

ディズニーグループは独自の動画配信サービスである Disney+ に経営資源を集中させたい方針であることから ESPN の事業形態をどのように組み替えて採算性を上げていくのかが興味深いところである。テーマパーク部門の深刻な経営危機もあり、年内にも ESPN の放送サービス内容を大幅に改変する可能性が強い。

Ichiro Kawakami
デジタル・ルック・ラボ

☆ http://www.uni-w.com/fdi/　ではフルカラーでご覧いただけます。